

震災から10年、コロナ感染拡大開始から1年。2021年の今だからこそ、

東北のおいしさを、頑張る人へのエールに変えて。

東北六県のお米を使用した玄米茶「東北六県茶」が、応援メッセージ広告を作成。

3月22日より大宮駅構内、3月26日より首都圏の一部自販機側面にて掲出開始。

- 地域の優れた素材のおいしさを、飲料というカタチでひとりでも多くのお客さまにお届けしている株式会社 JR 東日本ウォータービジネス（本社：東京都品川区、代表取締役社長：竹内 健治）は、オリジナル飲料ブランド acure made <アキュアメイド> から発売している「東北六県茶」のメッセージ広告『頑張れ、のかわりに。』を、3月22日より大宮駅の北改札内通路に掲出いたします。また同広告を東北6県（青森・秋田・岩手・宮城・山形・福島）それぞれに分け、首都圏設置の一部アキュアの自販機側面に、3月26日より順次掲出いたします。
- 本広告は、東北大震災から10年、国内でのコロナウイルス感染拡大開始から1年が経ち、飲料を提供する私たちができることを考えた時、「ずっと飲料で地域を応援してきたアキュアだからこそ、もっと飲料でたくさん応援できるものがあるはず」という思いが芽生え、企画しました。東北六県のブランド米を使用した玄米茶「東北六県茶」は、東北のおいしさを多くの人に届ける商品。そのおいしさをエールに変えて、東北の人の言葉で多くの頑張る人へお届けします。
- アキュアでは今後も、「おいしさ」だけではなく「想い」も届けることができるブランドを目指してまいります。



（上：大宮駅ポスター掲出イメージ 右：自販機側面掲出イメージ）

■ メッセージ広告『頑張れ、のかわりに。』の概要

今回掲出するメッセージ広告は、コピーライターによって作成した6種類のメッセージを、実際に東北の方をお願いをし、各地の方言へと変換しました。東北大震災から10年、国内でのコロナウイルス感染拡大開始から1年。今の日本で頑張る人に向けての応援メッセージを、東北各県の方言にしてお届けします。



(上段左から青森県、秋田県、山形県。下段左から岩手県、宮城県、福島県)

アキュアメイドの地産飲料には、その地域の優れた素材のおいしさを、身近な“駅”という場所で、手軽な“飲料”というカタチで、ひとりでも多くのお客さまにお届けしたいという思いがあります。

「東北六県茶」は、米どころ東北六県のブランド米を使用して作った玄米茶。厳選された各県のお米は、そのどれもが旨みや甘み、香りのバランスがよく、それでいて6種のお米が互いを邪魔することなく、上手く融合した味わいに。お米本来の甘味を最大限感じられるよう、焙煎方法にも細かくこだわりました。

そんな「東北六県茶」は、2021年という“今”だからこそ、頑張る人のエールになれると思います。

仕事が忙しくて長らくふるさとに帰れていない人。
 上京してバイトをしながら大学の学費を払っている人。
 この春、社会人として新たなスタートを切ろうとしている人。
 今の日本にはたくさんの頑張っている人がいる。

ずっと飲料で地域を応援してきたアキュアだからこそ、もっと飲料で応援できるたくさんものがあるはず。

『頑張れ、のかわりに。』

私たちアキュアは、このお茶で、ひとりでも多くの人たちを応援したいと考えています。

「東北六県茶」について

【商品概要】

- 商品名 東北六県茶
- 価格 130 円（税込）
- 容器・容量 ペットボトル・275ml
- 販売箇所 JR 東日本のエキナカにあるアキュアの自販機
JR 東日本ウォータービジネス通信販売
(<http://www.acure-fun.net/online/>) 等
- 発売開始 2021 年 3 月 9 日(火)
- 商品紹介 <https://www.acure-fun.net/products/2021/touhoku6kencha.html>
- 使用しているお米の銘柄



青森県「青天の霹靂」	秋田県「あきたこまち」	山形県「つや姫」
岩手県「ひとめぼれ」	宮城県「ササニシキ」	福島県「天のつづ」

※焙煎米に占める使用割合：青天の霹靂 16%、あきたこまち 16%、つや姫 16%、ひとめぼれ 16%、ササニシキ 16%、天のつづ 16%

※焙煎地：茨城県